



令和7年12月1日

自動車技術安全部

大型車の車輪脱落事故が連続して発生しています！

事業用自動車の車輪脱落事故については、車輪脱落事故防止キャンペーン（令和7年10月～令和8年2月）を展開し、事故防止ポスターの掲示やトルクレンチを使用した街頭点検活動等での啓蒙・周知を実施しているところです。

しかしながら、北陸信越運輸局管内において、冬用タイヤに交換した後の車輪脱落事故が令和7年11月中に3件立て続けに発生したとの報告があり、今後の事故発生を危惧しています。

そこで、さらなるタイヤ脱落による事故発生を防止するため、注意喚起文の発出、運輸局等のホームページへの掲載を通じて、注意喚起を実施します。

車輪脱落事故発生状況（令和7年11月に起きた事故）

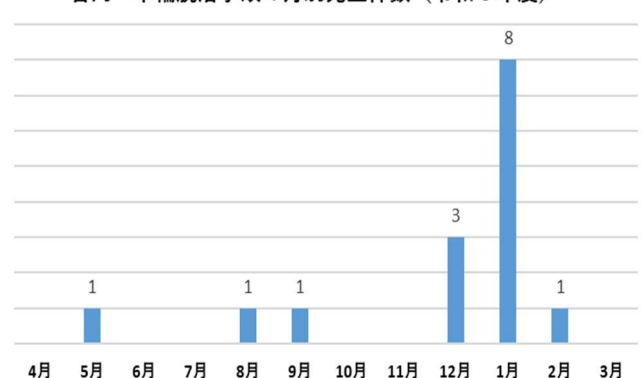
（事業者からの報告による）

発生年月日	発生場所	被害状況	脱落箇所	車体の形状	交換から脱落までの時間
R7.11.10（月）	新潟県	無し	後前輪（左側）	大型バン	2日
R7.11.19（水）	新潟県	無し	後後輪（左側）	大型バン	2日
R7.11.25（火）	新潟県	無し	後後輪（左側）	大型バン	3日

（参考） タイヤ脱落事故の近年の状況

1. 大型車の車輪脱落事故は例年、11月から1月頃に多く発生が見られる。
2. 冬用タイヤへの交換後、1ヶ月以内に事故が多く発生している。
3. よって、トルクレンチを使用した適切な作業の実施、ホイールナット等の錆び等の除去、運行前点検の重要性と一定距離走行後の増し締めの実施の周知が必要。

管内 車輪脱落事故の月別発生件数（令和6年度）



【お問い合わせ先】

北陸信越運輸局自動車技術安全部 百石（ひゃっこく）、樋浦

TEL：025-285-9164

北信技保第 6 1 号
令和 7 年 1 2 月 1 日

管内各県トラック協会会長 殿

北陸信越運輸局 自動車技術安全部長
(公印省略)

大型車の車輪脱落事故防止の徹底について

事業用自動車の車輪脱落事故防止については、車輪脱落事故防止キャンペーン（令和 7 年 1 0 月～令和 8 年 2 月）を展開し、事故防止ポスターの掲示やトルクレンチを使用した街頭点検活動等での啓蒙・周知を実施しているところです。

しかしながら、北陸信越運輸局管内において、冬用タイヤに交換した後の車輪脱落事故が令和 7 年 1 1 月中に 3 件立て続けに発生（(参考) 参照）したとの報告があり、今後の事故発生を危惧しております。

これらの事故は、全て自社で冬用タイヤに交換し、交換から 3 日以内に発生しています。詳細原因については、調査中ではありますが、特に下記について、傘下会員への展開とともに、緊急措置としてホイールナットの増し締め点検の実施の啓蒙をお願いいたします。

記

- ・タイヤ交換は、トルクレンチを使用した適切な作業の実施はもとより、経年使用に伴うホイールナット等の錆、泥、ゴミの除去も確実に実施すること。
- ・タイヤ交換後は、運行前のホイールナットの緩みの点検を確実に実施するとともに、一定距離走行後は増し締めを実施すること。

(参考)

車輪脱落事故発生状況（令和 7 年 1 1 月に起きた事故）

（事業者からの報告による）

発生年月日	発生場所	被害状況	脱落箇所	車体の形状	交換から脱落までの時間
R7.11.10（月）	新潟県	無し	後前輪（左側）	大型バン	2 日
R7.11.19（水）	新潟県	無し	後後輪（左側）	大型バン	2 日
R7.11.25（火）	新潟県	無し	後後輪（左側）	大型バン	3 日

ホイールボルト、ナットや ディスクホイール、ハブの錆に注意！



ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの経年使用に伴う著しい錆によるものと思われる「車輪脱落事故」が発生しています。
著しい錆のあるボルト、ナットやホイール、ハブは使わないでください！

©くまね工房

ホイールボルト、ナットの錆

ホイールボルトやホイールナットの経年使用に伴う著しい錆があると、規定の締め付けトルクで締め付けても、十分な締め付け力が得られなくなります。

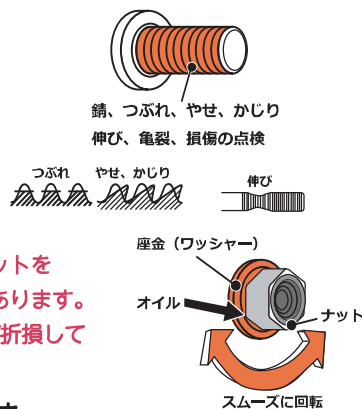
【ホイールボルト、ナットの点検要領】

- 著しい錆の発生がないか点検します。
- 亀裂や損傷がないか点検します。
- ねじ部につぶれや、やせ、かじりなどが点検します。
- ボルトが伸びていないか点検します。

※錆や汚れを落とし、ねじ部にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布してナットをボルトの奥まで回転させたとき、スムーズに回転しない場合は、ねじ部に異常があります。異常がある場合は、ボルト、ナットをセットで交換してください。また、ボルトが折損していた場合は、その車輪すべてのホイールボルト、ナットを交換してください。

- ナットの座金（ワッシャー）が、スムーズに回転するか点検します。

※ナットと座金（ワッシャー）のすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。
ナットの座面（ディスクホイールとの当たり面）には潤滑剤を塗布しないでください。



【著しい錆の例】



ホイールボルト



◀ホイールナットとワッシャーに変形が見られ、ワッシャーがはずれかかっている。

ホイールナットに生じた錆や付着したゴミ等により、ワッシャーの摺動部が固着している。



ディスクホイール、ハブの錆

ディスクホイールやハブの経年使用やこれまでの清掃不足に伴う著しい錆は、締め付け力の低下（緩みの発生）をまねきます。

【ハブの点検要領】

- ホイール取付面に著しい錆の発生がないか点検します。
- ホイール取付面に著しい摩耗や損傷がないか点検します。

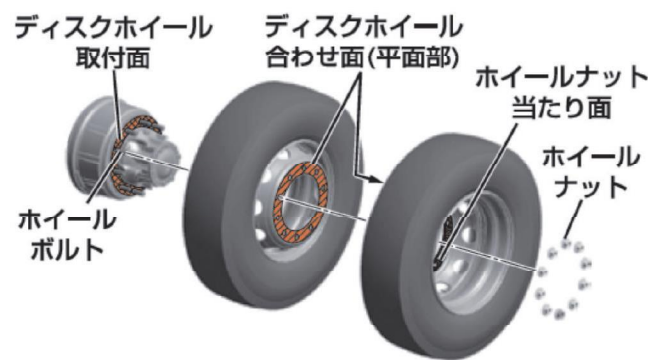
※ディスクホイールの破損や、ホイールナットの緩み、ホイールボルトの折損などは、車輪脱落事故の原因となります。

【ディスクホイールの点検要領】

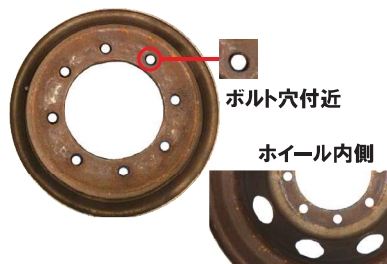
- ホイール取付面、ホイール合わせ面、ホイールナット当たり面に著しい錆の発生がないか点検します。
- ボルト穴や飾り穴のまわりに亀裂や損傷がないか点検します。
- ホイールナットの当たり面に亀裂や損傷がないか点検します。
- 溶接部に亀裂や損傷がないか点検します。
- ホイール取付面、ホイール合わせ面、ホイールナット当たり面に摩耗や損傷がないか点検します。

※ホイール取付面、ホイール合わせ面、ホイールナット当たり面の経年使用に伴う著しい段付き摩耗は、ホイールナットの緩みの原因となります。

※ホイール取付面、ホイール合わせ面、ホイールナット当たり面には、追加塗装は行わないでください。厚い塗膜は、ナットの緩みやボルト折損の原因となります。



【著しい錆の例】



ハブ（ホイール取付面）

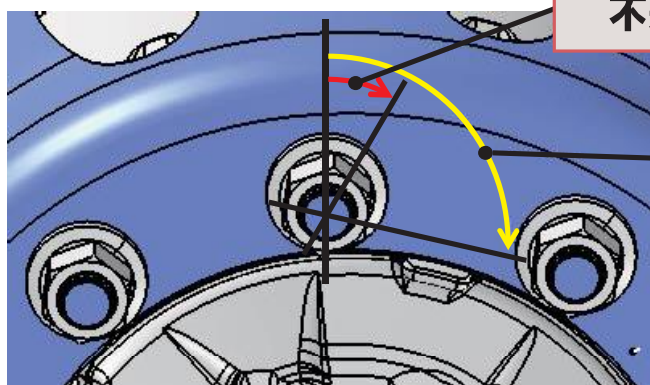


ホイールボルト、ナットや ディスクホイール、ハブの錆の影響

なぜ錆び落とし、給脂を実施するのか、実施しないとどうなるのか

ホイールボルト、ナットの清掃・給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部や、ナットと座金（ワッシャー）の摺動面に
ごみや泥、錆があったり、給脂をしないと、ナットが円滑に回らなくなり、
規定の締め付けトルクで締め付けても、ナットが本来あるべき位置まで
締まらず、**十分な締め付け力が得られなくなります。**



不適切な状態で締め付けたナット回転角度

正しく締め付けたナット回転角度

ディスクホイール、ハブの清掃・錆落とし

ディスクホイールとハブ接合面にごみや泥、錆があると、これらが潰れたり、
剥がれることで、**締め付け力の低下（緩みの発生）をまねきます。**

